
2015年7月期 第2四半期決算説明会

包装システムの市場創造型トータルプランナー

ゼネラルパッカー株式会社



証券コード: 6267

目次

I. 事業環境

II. 2015年7月期第2四半期決算概況

III. 2015年7月期通期業績見通し

IV. 中期経営計画ならびに

経営戦略の主な取組み状況

V. 参考資料

事業環境

- ・生産金額は高水準が続く
- ・生産台数は減少傾向

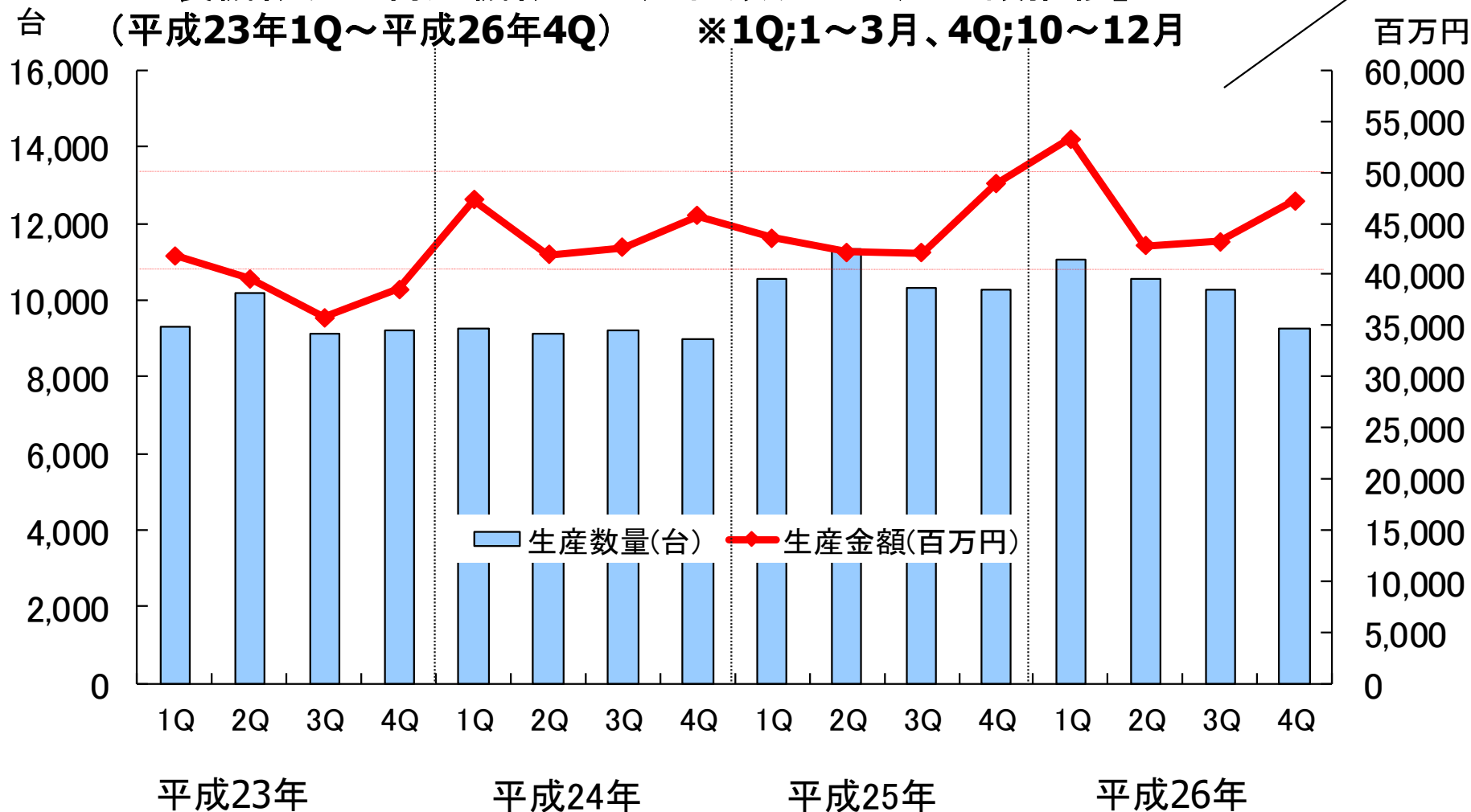
平成26年計
 生産金額
 前年比5.5%増
 生産台数
 前年比3.3%減

経産省 生産動態統計確報

「包装機械及び荷造機械の生産台数及び生産金額推移」

(平成23年1Q～平成26年4Q)

※1Q;1～3月、4Q;10～12月



事業環境と現状認識

<包装機械業界>

●国内の設備投資需要は好調に推移

『生産性向上設備投資促進税制』の効果、更新需要の回復等
中小企業へも投資が波及

●輸出は円安を追い風に増加基調

●業界全体の平成26年度(H26.4~H27.3)の生産高は、前年度から増加し 4,000億円を越える見通し ※(一社)日本包装機械工業会 生産高統計

<当社の動向>

●大型包装システムの受注実績が減少し、上期の機械受注高は、前年同期を下回るものの、自社機品目の受注高は、前年同期比約3割増となる。

機械受注残高は、過去最高の水準。

●一部案件で繰越が発生したため、上期売上高は計画を下回る。

⇒下期は計画を大幅に上回り、通期売上高は3期連続で過去最高となる見通し。

●海外市場向けは、販売台数は増加したものの、高額案件が減少したことから、上期の機械売上高は、前年同期を下回る。

⇒アジア市場向けの受注が好調に推移し、通期売上高は大幅に増加する見通し。

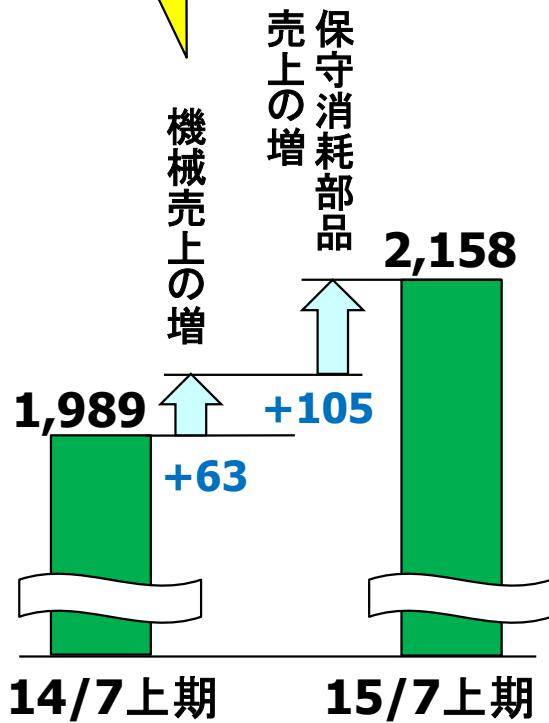
II. 2015年7月期 第2四半期決算概況

2015年7月期 第2四半期決算のポイント

売上高
169百万円の増収

販売台数の増加等

海外市場が増加



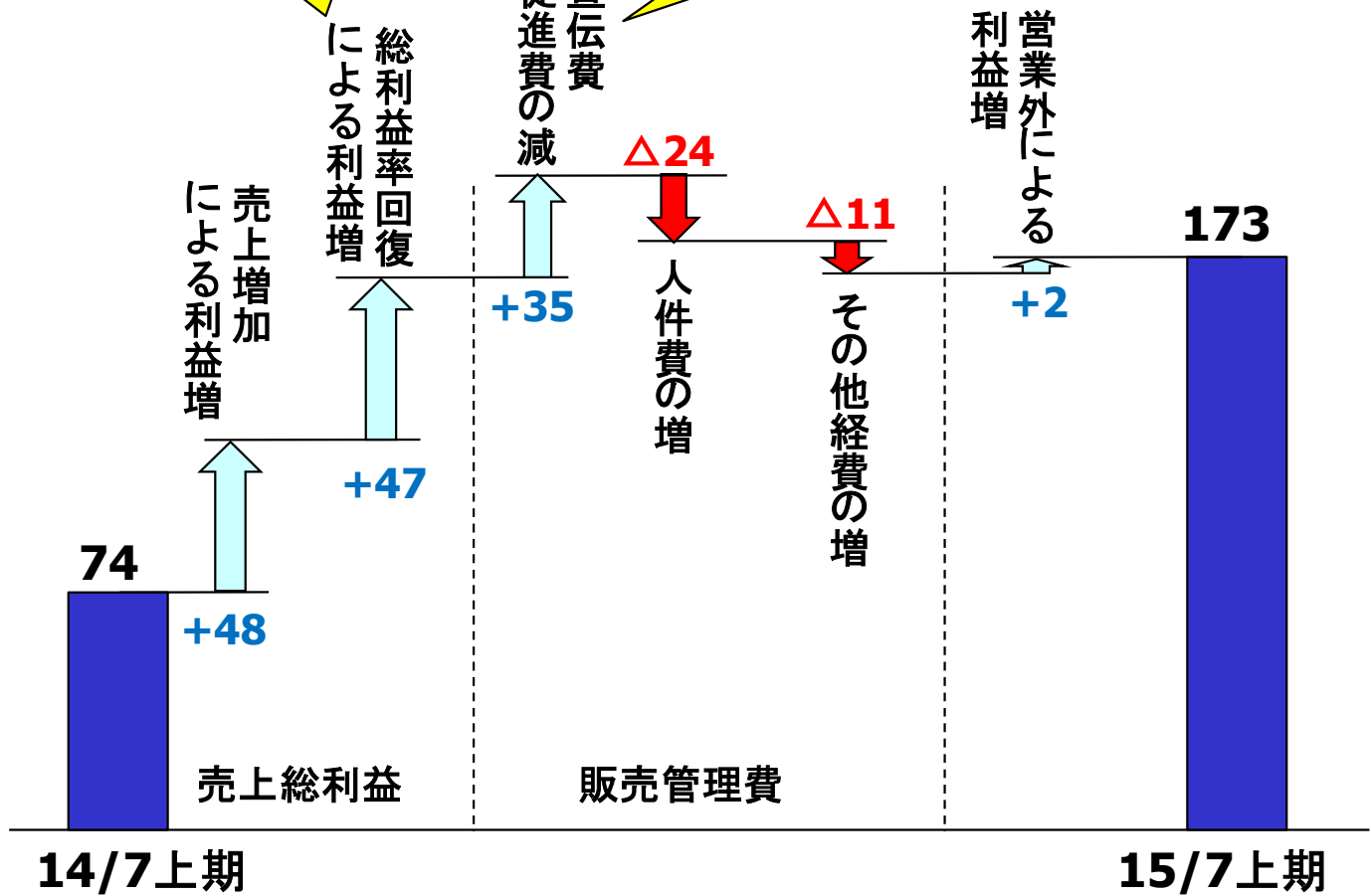
経常利益増減要因(前年同期比) 98百万円の増益

高粗利案件の増加

販売促進費の減
広告宣伝費

展示会費用等の減少

(単位:百万円)



期初予想比; 241百万円減収、6百万円減益

売上時期が第3Qにずれこむ

2015年7月期第2四半期累計 決算概要

(単位:百万円、%)

	2014年7月期 第2四半期累計		2015年7月期 第2四半期累計		前年同期比		2015年7月期 第2四半期累計計画		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率	金額	計画比	率
売上高	1,989	100.0	2,158	100.0	+169	+8.5	2,400	△241	△10.0
売上総利益	528	26.5	623	28.9	+95	+18.1	685	△62	△9.1
営業利益	72	3.6	168	7.8	+96	+133.3	179	△11	△6.2
経常利益	74	3.7	173	8.0	+98	+132.5	180	△6	△3.7
四半期純利益	52	2.6	120	5.6	+67	+128.7	120	0	△0.1

増収・増益

- 給袋自動包装機の販売台数が大幅に増加したことから、売上高は前年同期比8.5%増収。
- 売上総利益は、売上高の増加により、前年同期比95百万円増加。
売上総利益率は、高粗利益機種の販売台数増加により、前年同期比2.4ポイント改善。
- 販管費は、ほぼ前年同期並み。
- 経常利益は、前年同期比98百万円増益。
- 四半期純利益は、ほぼ計画通りで、前年同期比67百万円増益。

品目別売上内訳

(単位:百万円、%)

	2014年7月期 2Q累計	2015年7月期 2Q累計	前年同期比増減		2015年7月期 2Q累計計画
			金額	率	
給袋自動包装機	787	1,302	+514	+65.4	1,102
製袋自動包装機	377	135	△242	△64.1	495
包装関連機器等	364	155	△208	△57.3	317
保守消耗部品その他	460	565	105	+22.9	484
合計	1,989	2,158	169	+8.5	2,400

注)給袋自動包装機は、ガス充填自動包装機を含む

前年同期比 : +169百万円、+8.5%

主力の給袋自動包装機が大幅な増加。

- ・給袋自動包装機: +514百万円・・・販売台数が大幅に増加
- ・製袋自動包装機: △242百万円・・・販売台数が減少
- ・包装関連機器等: △208百万円・・・高額包装システムが減少
- ・保守消耗部品その他: +105百万円・・・保守案件が増加

機械売上
+63

- ・機械売上高 計画比 △323百万円・・・高額案件で繰越が複数発生
- ・保守消耗部品 計画比 +81百万円・・・高額案件の増加

四半期売上高

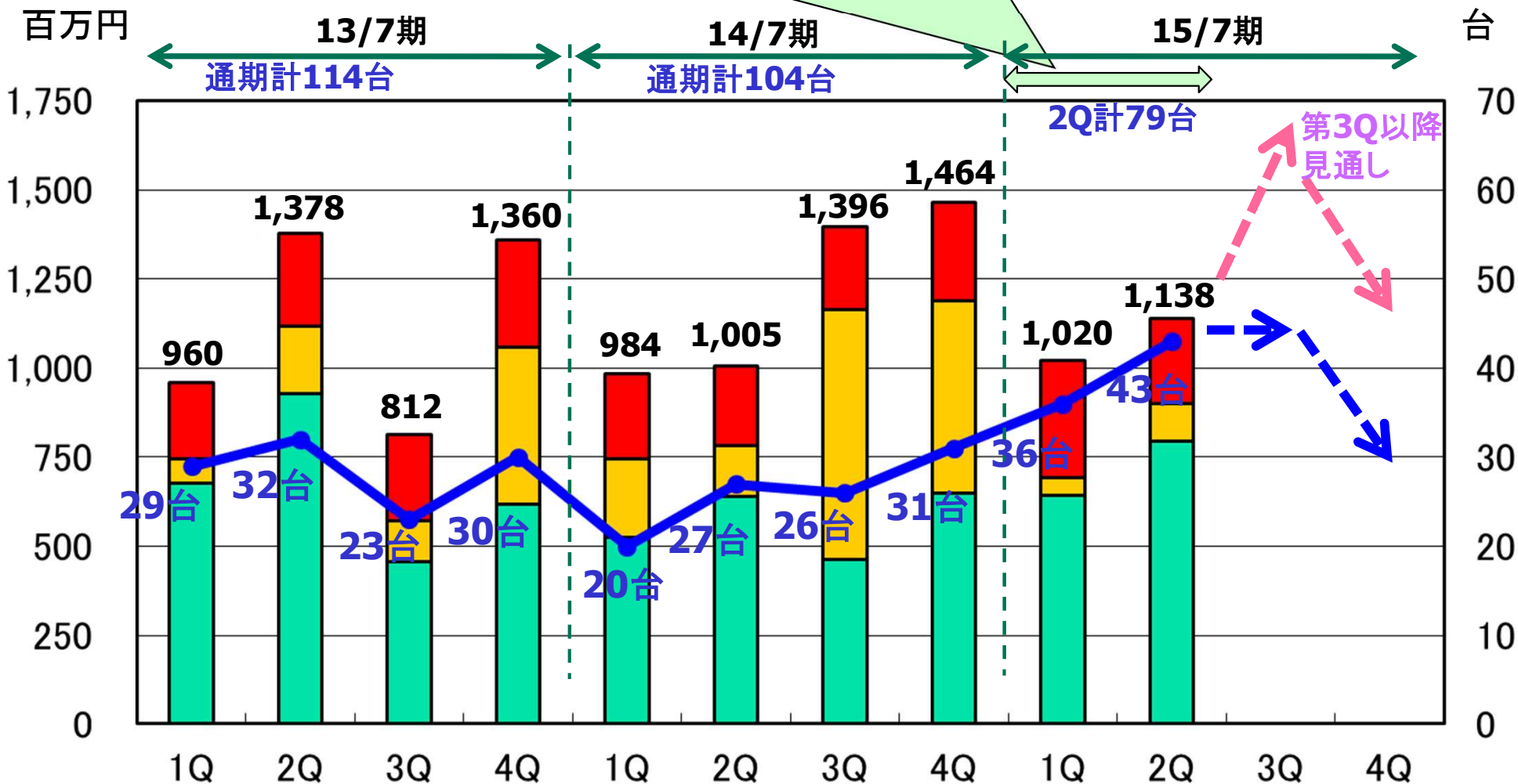
大型案件の有無、高額機種の販売台数により、
四半期売上高は大きく変動

第2四半期累計実績

自社機販売台数 前年同期比+32台

自社機売上高 前年同期比+272百万円

※(給袋自動包装機<ガス充填自動包装機含む>、製袋自動包装機の合計)

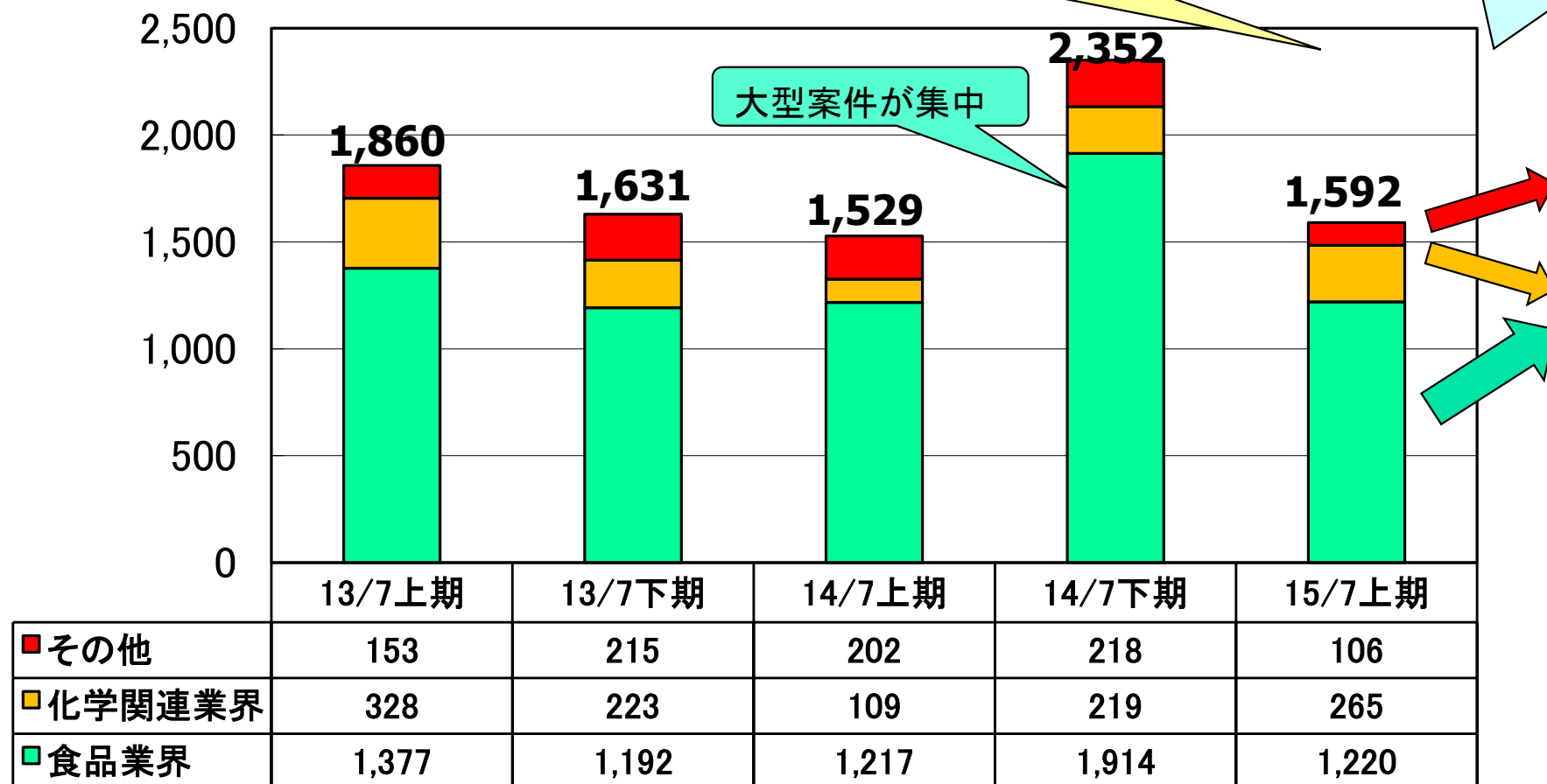


■ 自社機合計 ■ 包装関連機器等 ■ 保守消耗部品 ● 自社機販売台数(右軸)

エンドユーザー業種別売上高

化学関連業界の増加により、機械売上高は前年同期比4.2%増

百万円	<化学関連業界> 医療分野、健康食品等 <その他> ペットフード、種苗等	15/7期上期実績	15/7下期見通し(上期比)
		食品業界 前年同期比 0.4%増 化学関連業界 前年同期比142.4%増 その他 前年同期比 47.3%減	食品業界・その他が増加 化学関連業界は減少 全体で上期より大幅に増加



国内/海外市場別売上高

(エンユーザー市場)

15/7期上期実績

国内市場 前期同期比 +106百万円

海外市場 前期同期比 △42百万円

15/7下期(上期比)

・国内市場

横ばいの見通し

・海外市場

大幅な増加の見通し

百万円

2,500

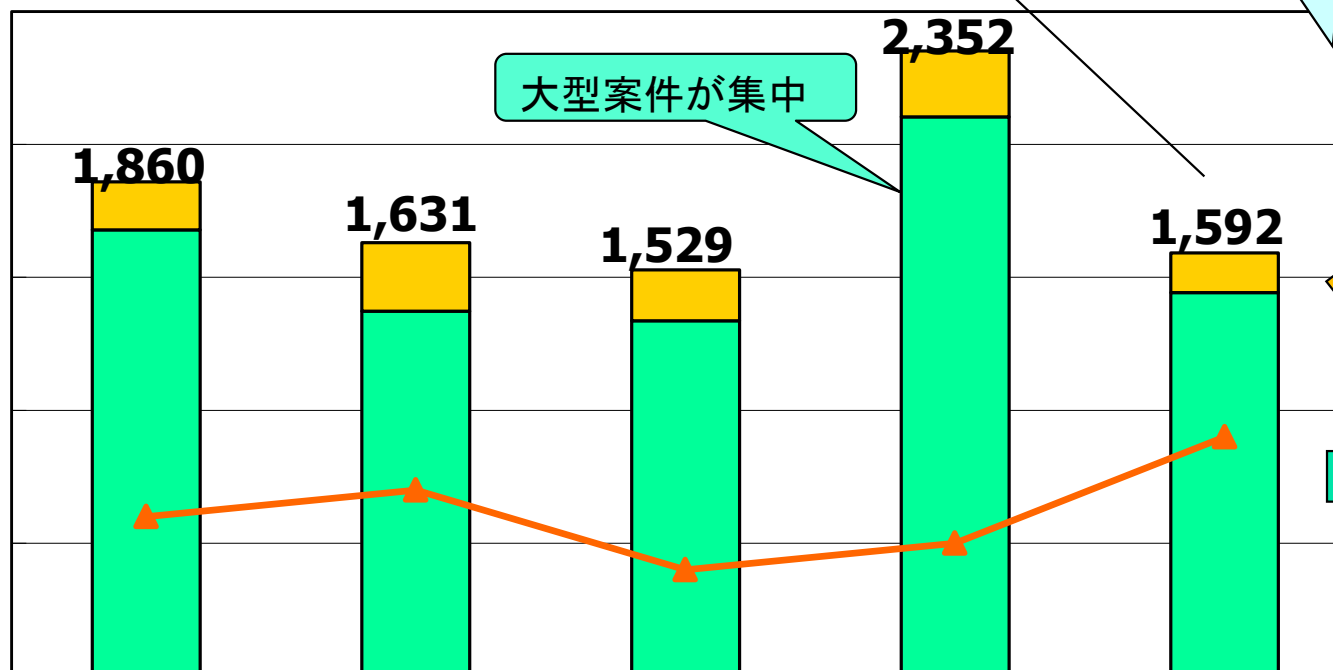
2,000

1,500

1,000

500

0



大型案件が集中

台
25

20

15

10

5

0

13/7上期

13/7下期

14/7上期

14/7下期

15/7上期

■ 海外市場	180	257	191	248	149
■ 国内市場	1,679	1,373	1,337	2,103	1,443
▲ 海外向け台数	6	7	4	5	9

(自社機)

海外市場向けの売上高

(エンドユーザー地域別)

百万円

<アジア市場>
東南アジア市場向けが中心
・日系企業、現地企業

<北米・南米、欧州市場>
ペットフード向けが中心

15/7期上期実績

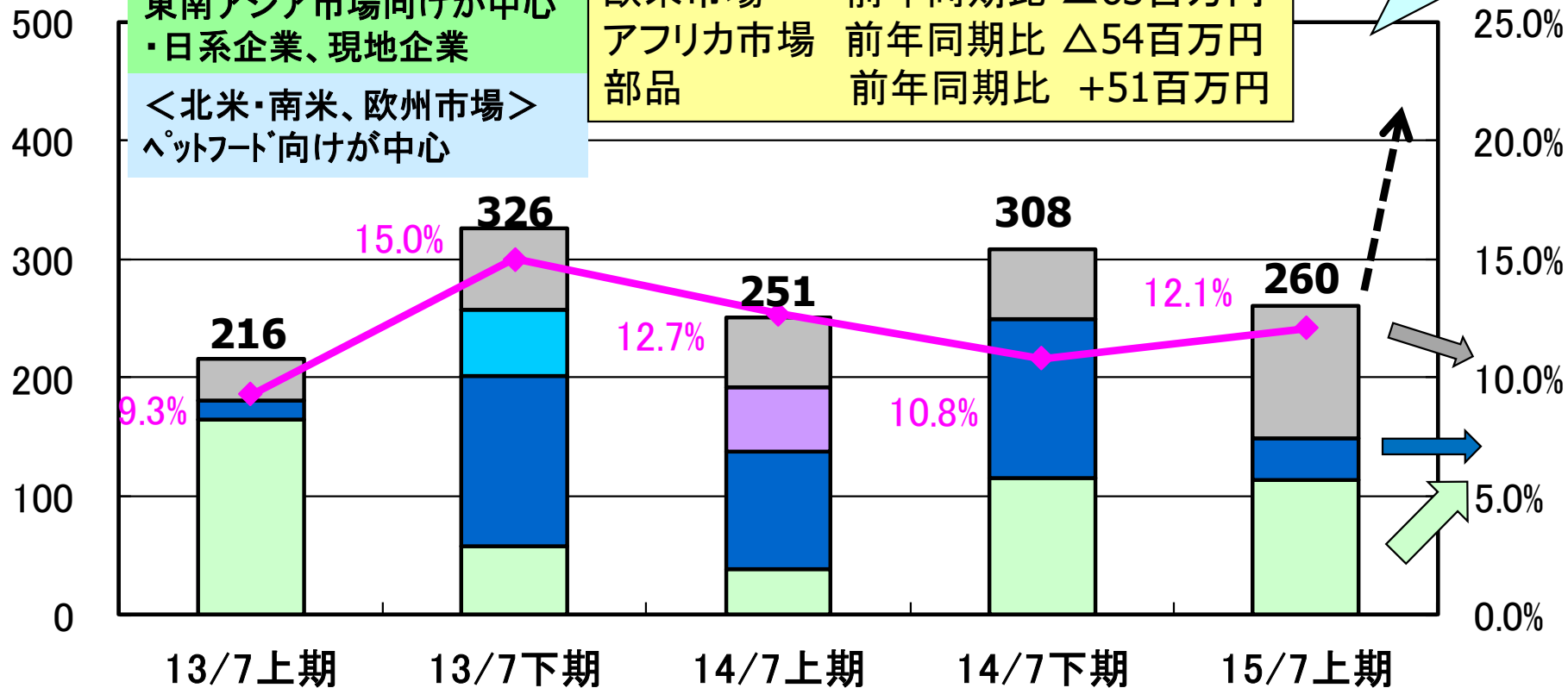
アジア市場 前年同期比 +75百万円

欧米市場 前年同期比 △63百万円

アフリカ市場 前年同期比 △54百万円

部品 前年同期比 +51百万円

15/7下期(上期比)
アジアは大幅な増加、
欧米は横ばいの
見通し
全体で大幅な増加



アジア市場

北米・南米市場

欧州市場

アフリカ市場

部品合計

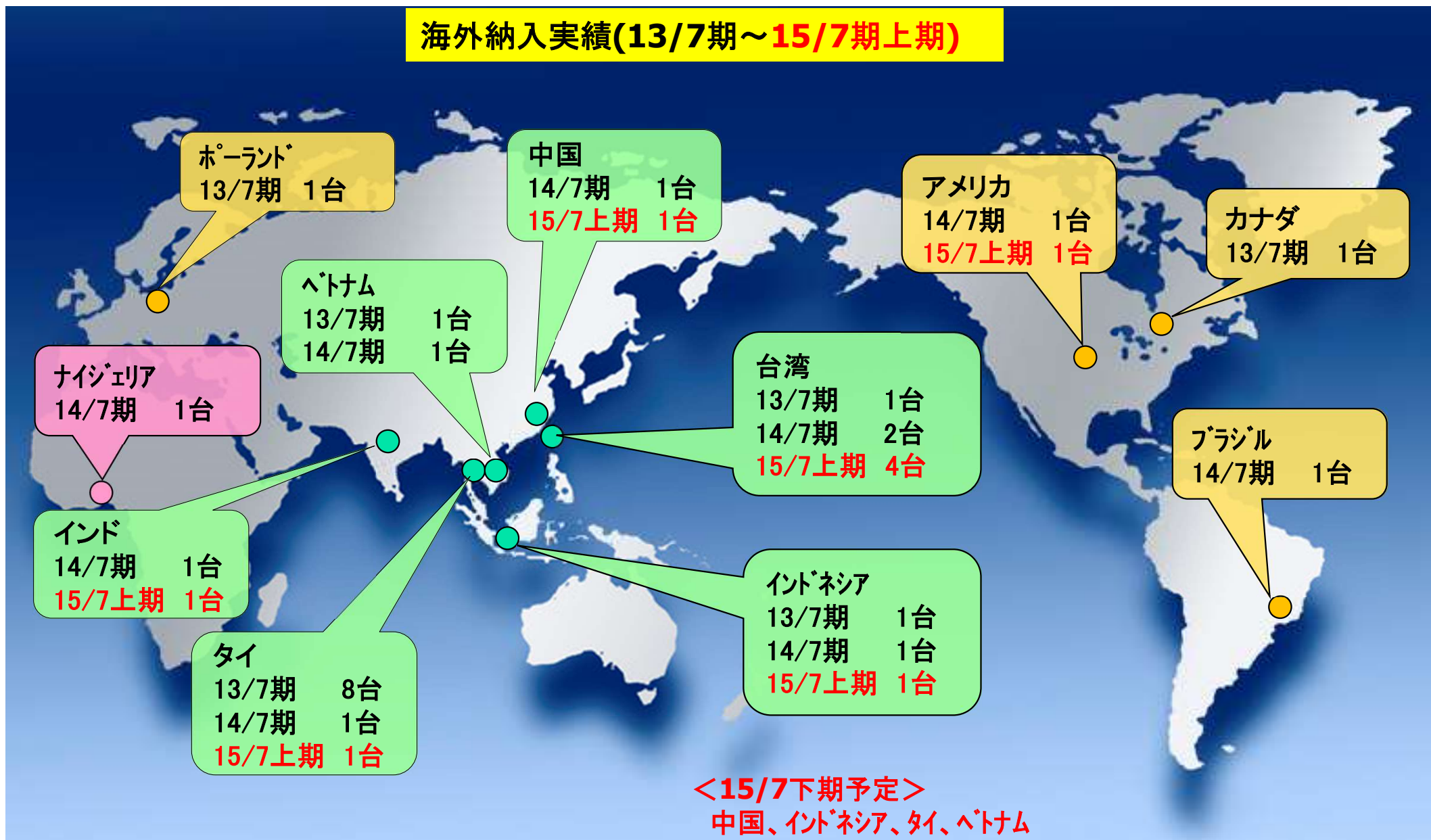
海外向け売上高比率

※機械売上高;エンドユーザー地域別

海外市場向け 国別実績

※ 自社機台数

海外納入実績(13/7期～15/7期上期)

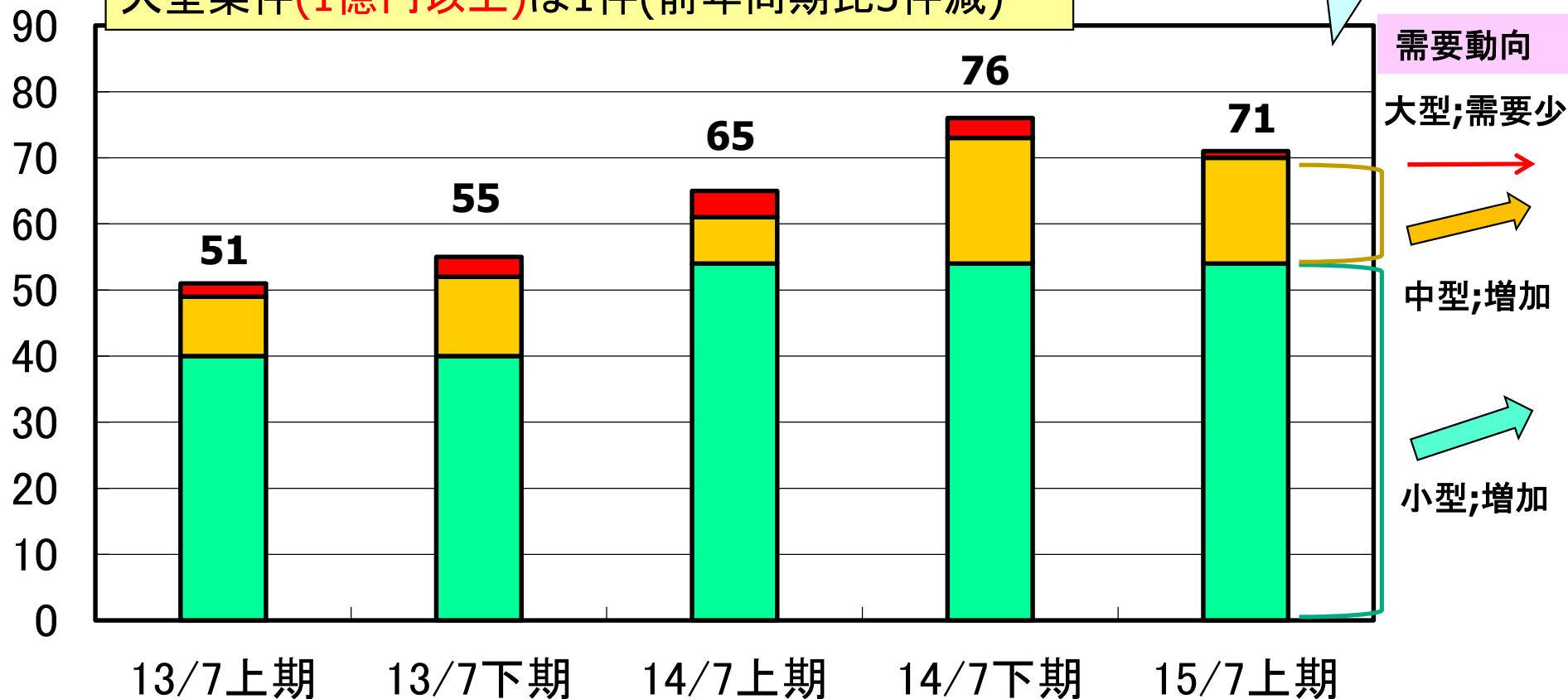


機械の受注件数

<15/7下期計画>
中小型案件の受注増加
を目指す

件数

受注件数は前年同期比6件増
大型案件(1億円以上)は1件(前年同期比3件減)



1件当たりの
受注金額の層別

■ 30百万円未満 ■ 30百万円-1億円未満 ■ 1億円以上

機械の受注動向

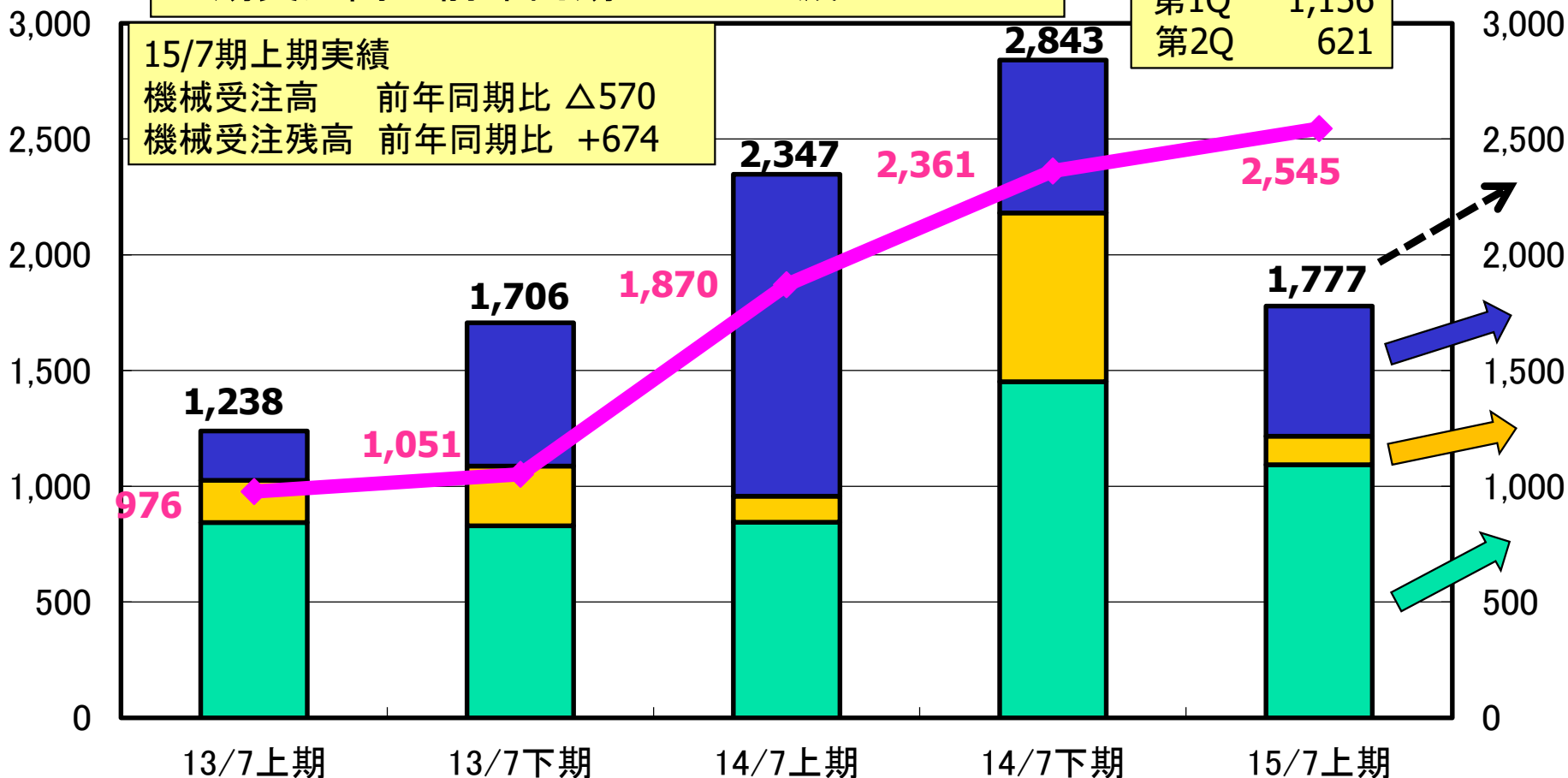
<15/7下期計画>
 大型案件の確保と給袋自動包装機の増加で、上期より増加を目指す

大型包装システムの受注が減少したことから、
 上期受注高は前年同期比24.3%減

百万円

15/7期上期実績
 機械受注高 前年同期比 Δ 570
 機械受注残高 前年同期比 +674

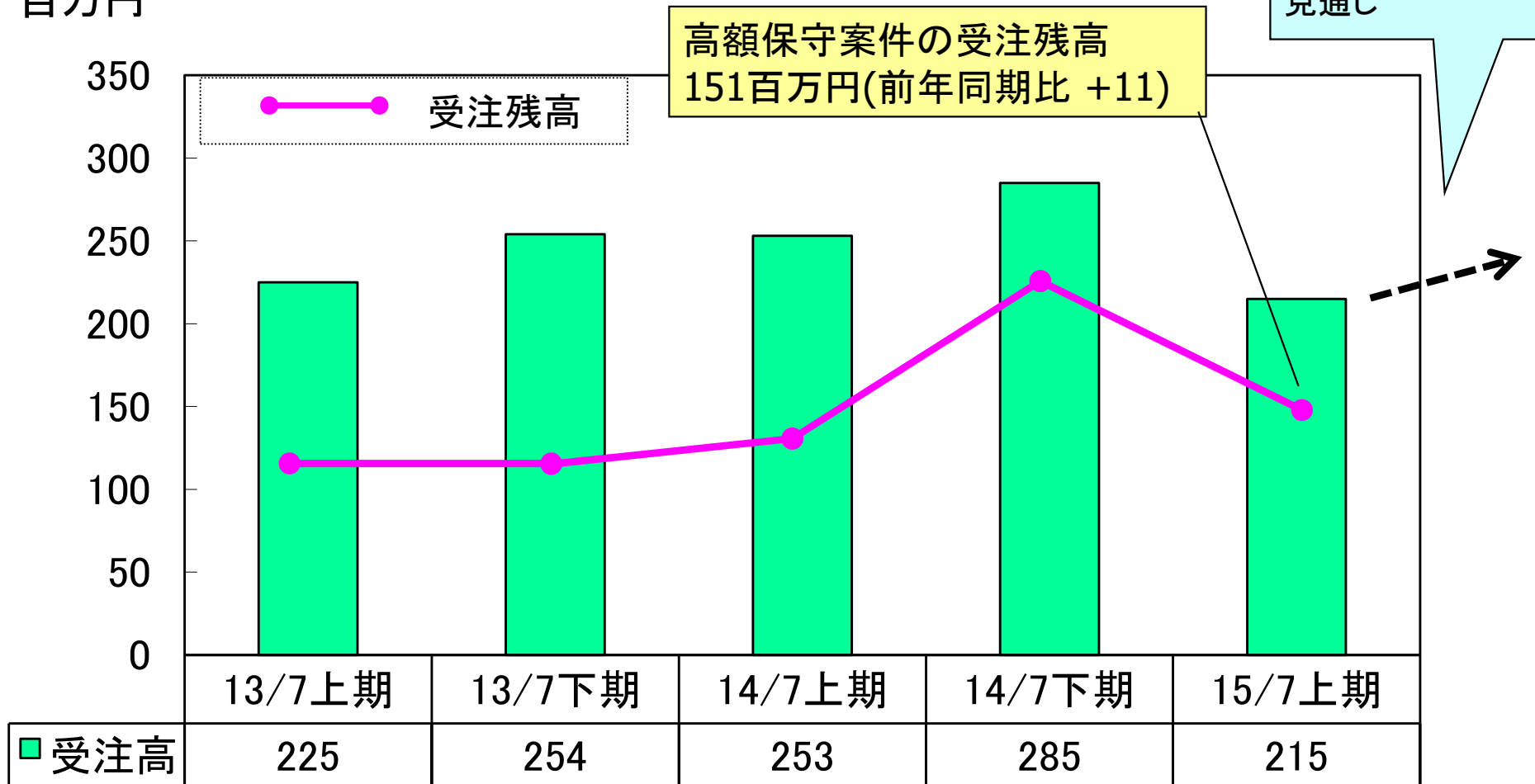
四半期受注高
 第1Q 1,156
 第2Q 621



高額保守案件の受注高推移

高額保守案件:百万円以上／件の保守・改造

百万円



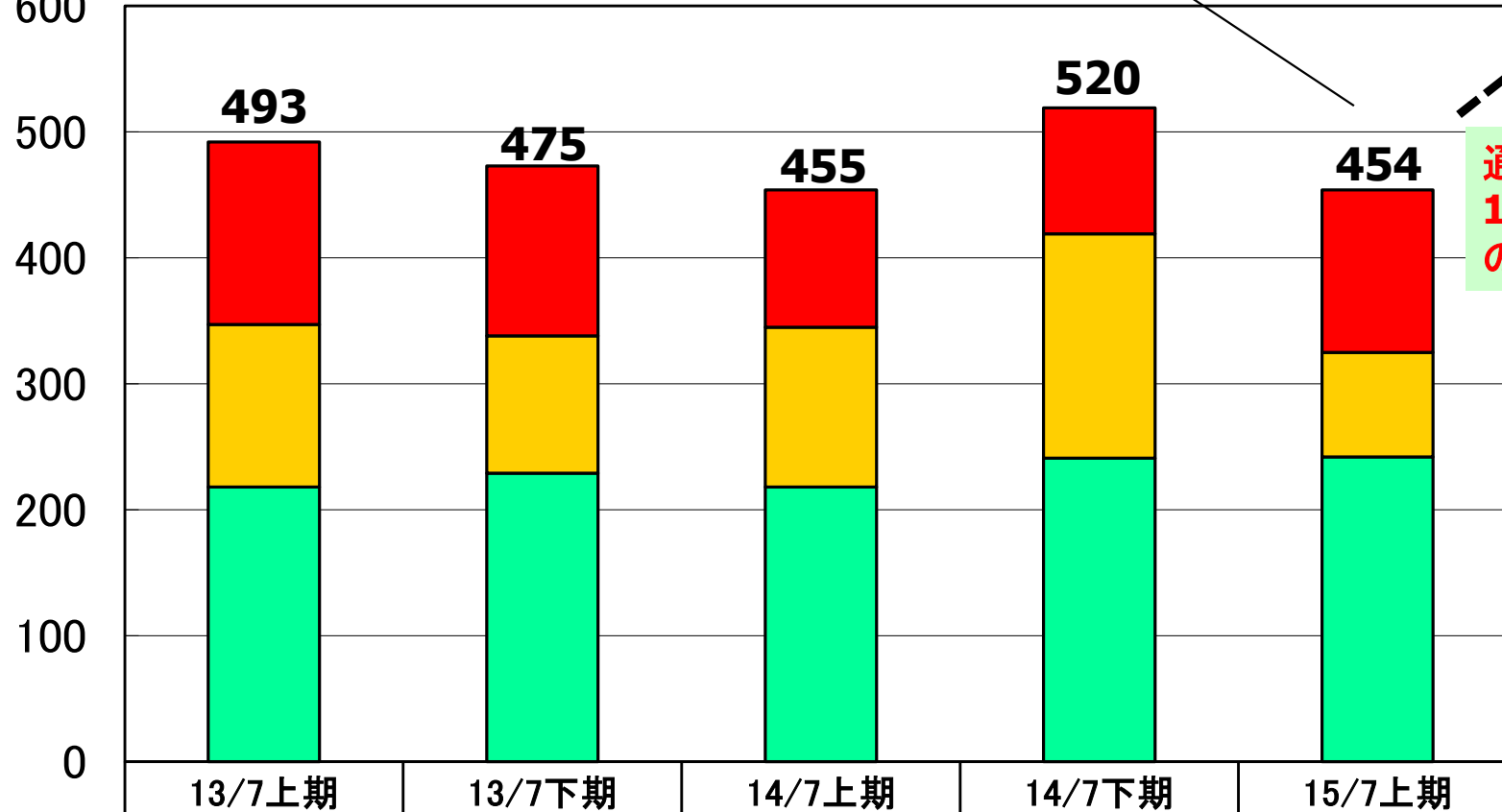
注)印字機・検査装置等の仕入機器の費用も含む
仕入機器の販売のみの場合は、包装関連機器等に計上

販売費及び一般管理費

15/7下期計画
研究開発費等の増加で、
前年下期より増加見込み
上期より大幅に増加

人件費等の増加、展示会費用の減少 ⇒ 前年同期並み

百万円
600



通期で前期比
10%超増加
の見込み

■その他	145	135	109	100	129
■戦略経費	129	109	127	178	83
■人件費	218	229	218	241	242

(注)戦略経費:広告宣伝費、減価償却費、販売促進費、開発関連費、
求人費、業務委託費等の合計

Ⅲ. 2015年7月期 通期業績見通し

2015年7月期通期業績見通し

業績動向を踏まえ、
下期計画を上方修正

単位:百万円	期初計画	修正計画	差異	
売上高				
上期(1Q-2Q)実績	2,400	2,158	△241	
下期(3Q-4Q)	2,100	2,941	841	上期分繰越+販売台数及び大型案件増
通期	4,500	5,100	600	前期比+249(5.1%増)
売上総利益				
上期(1Q-2Q)実績	685	623	△62	売上高減少
下期(3Q-4Q)	587	769	182	売上高計画変更に伴う修正
通期	1,272	1,393	120	総利益率 期初計画比 △1.0ポイント
販売費及び一般管理費				
上期(1Q-2Q)実績	506	455	△51	予算執行の繰越、経費削減
下期(3Q-4Q)	558	643	85	研究開発費及び人件費の増加
通期	1,064	1,098	34	
営業利益				
上期(1Q-2Q)実績	179	168	△11	
下期(3Q-4Q)	29	126	97	
通期	208	295	87	前期比+65(28.6%増)

2015年7月期業績予想

(単位:百万円、%)

	2014年7月期		2015年7月期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
売上高	4,850	100.0	5,100	100.0	+249	+5.1
売上総利益	1,204	24.8	1,393	27.3	+188	+15.6
営業利益	229	4.7	295	5.8	+65	+28.6
経常利益	234	4.8	300	5.9	+65	+27.8
当期純利益	160	3.3	200	3.9	+39	+24.8

※2015年3月3日業績予想を修正

増収・増益

- 売上高は前期比5.1%増の51億円を見込む
下期取組み:大型案件の納入と海外向け売上高の増加
- 総利益率は、前期比2.5ポイント改善し27.3%
下期取組み:高粗利益機種の販売台数の増加
- 販管費は、研究開発費及び人件費などの増加により、前期比12.6%増加。
- 経常利益率は前期比1.1ポイント改善し5.9%
- 当期純利益は、前期比39百万円増の200百万円

2015年7月期品目別売上高予想

(単位:百万円、%)

	14/7上期		14/7下期		15/7上期		15/7下期 (予想)	
	売上	売上比	売上	売上比	売上	売上比	売上	売上比
給袋自動包装機	787	39.6	992	34.7	1,302	35.6	907	30.8
製袋自動包装機	377	19.0	119	4.2	135	19.0	534	18.2
包装関連機器等	364	18.3	1,240	43.3	155	18.3	1,014	34.5
保守消耗部品その他	460	23.1	508	17.8	565	23.1	484	16.5
合計	1,989	100.0	2,860	100.0	2,158	100.0	2,941	100.0

注)給袋自動包装機は、ガス充填自動包装機を含む

品目別売上高通期見通し

前期比 : +249百万円、+5.1%

機械売上高、保守消耗部品その他とも増収。

- 給袋自動包装機:2,210(前期比+430百万円)・・・販売台数の増加
- 製袋自動包装機:670(前期比+172百万円)・・・高価格機種が増加
- 包装関連機器等:1,170(前期比△434百万円)・・・大型包装システムの減少
- 保守消耗部品その他:1,050(前期比+81百万円)・・・高額件数の増加

自社機売上
+602

機械売上
+168

株主還元

中期配当政策

- 株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、配当性向**50%**または純資産配当率(DOE)**2%**を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指す。

	2012/7期	2013/7期	2014/7期	2015/7期予想
中間配当	3.50円	3.50円	3.50円	4.00円
期末配当	3.50円	3.50円	3.50円	5.00円
年間配当	7円	7円	7円	9円
当期純利益／株	0.88円	10.34円	18.03円	22.50円
配当性向	791.8%	67.7%	38.8%	40.0%
DOE	2.2%	2.2%	2.1%	2.6%

※2015年3月3日配当予想を修正(増配)

IV. 中期経営計画ならびに 経営戦略の主な取組み状況

第4次中期経営計画(2015年7月期～2017年7月期)

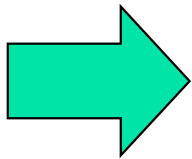
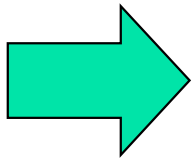
◆中期経営ビジョン

海外市場での成長基盤構築の時期

1. 世界に飛躍するGPブランド
2. **One stop**で応えるソリューションカンパニー
3. 挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

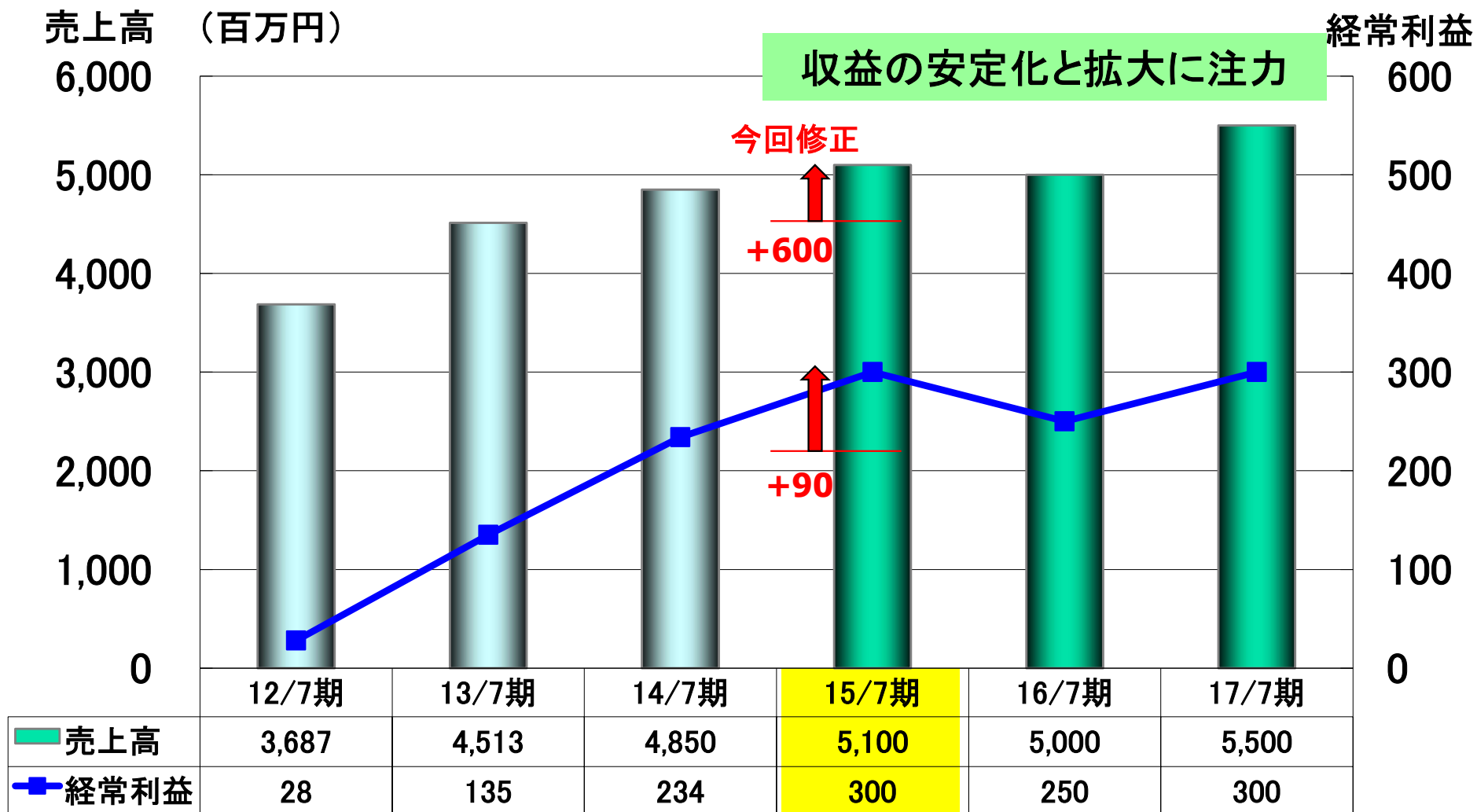
◆中期数値目標

第3次中計実績

	14/7期実績		17/7期目標
売上高経常利益率	4.8%		5.5%以上
ROA(総資産経常利益率)	4.7%		5.5%以上
ROE(自己資本当期純利益率)	5.5%		6.0%以上
	14/7期実績		14/7期目標
売上高	4,850百万円		5,500百万円
営業利益	229百万円		295百万円
経常利益	234百万円		300百万円
当期純利益	160百万円		200百万円

業績計画

第2期以降の数値については、今後の事業環境と業績動向を踏まえて、修正要否を検討予定



← 第4次計画 →

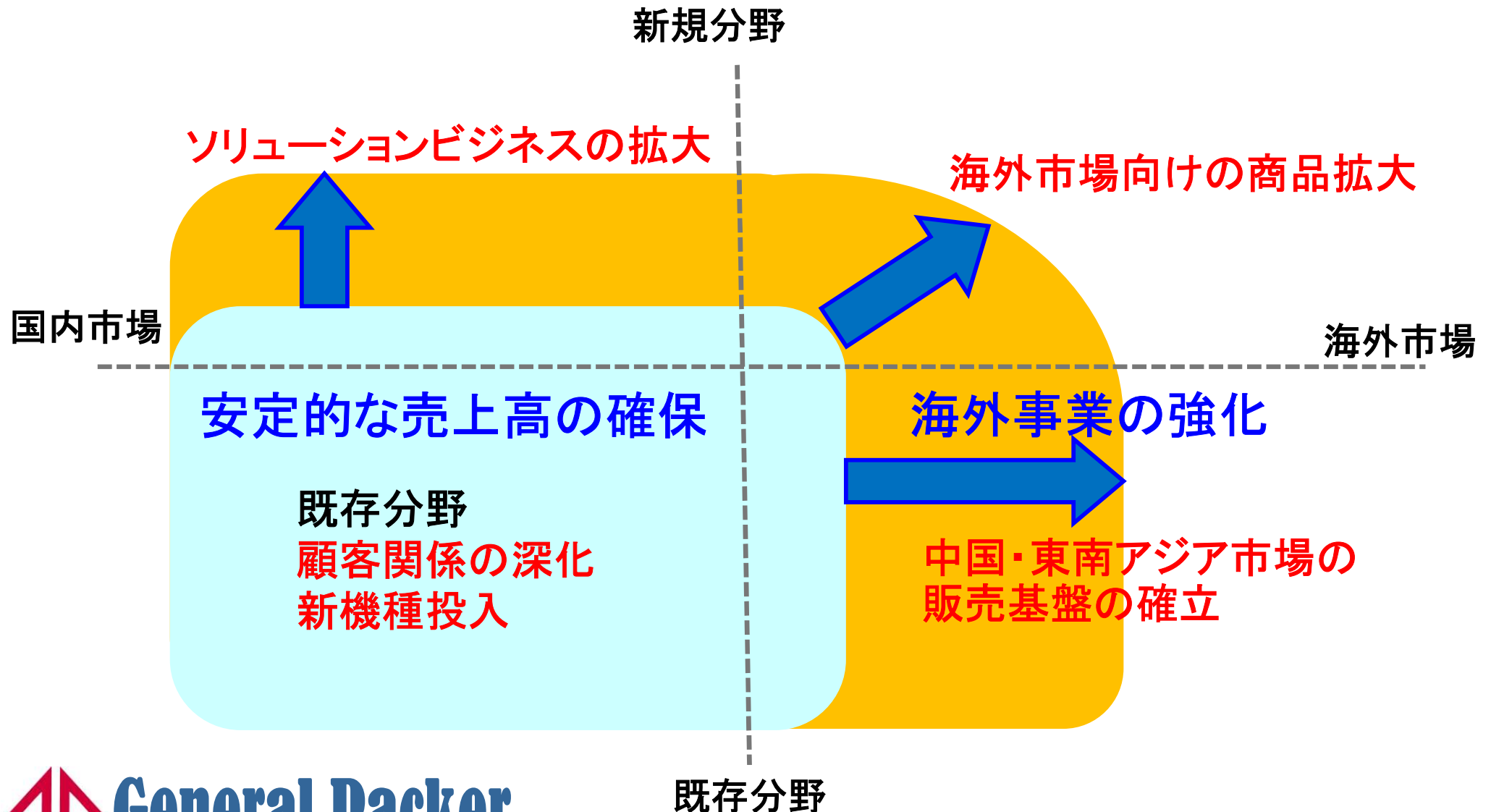
事業計画モデル

売上高(単位:百万円)	14/7期実績 (14/1期実績)	15/7期 期初予想	15/1期 実績	15/7期 修正予想	修正理由 今後の見通し
国内市場 (機械)	3,440 (1,337)	2,900	1,443	2,850	<ul style="list-style-type: none"> ・台数は増加したが、高額案件の受注が減少 ・堅調な見通し
海外市場 (機械)	440 (191)	600	149	1,200	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア市場の受注が増加(大型案件も有り) ・翌期は反動減の可能性有り
保守消耗部品	970 (460)	1,000	565	1,050	<ul style="list-style-type: none"> ・海外市場の受注が増加 ・横ばいの見通し
	4,850 (1,989)	4,500	2,158	5,100	

国内市場(機械)の注釈: 大型案件が集中 → 反動減を予想

基本戦略

「持続的成長に向けてグローバル企業を目指す」



基本戦略

- ①顧客関係の深化と新機種投入により、国内市場で安定的な売上高を維持する
- ②海外事業を強化し、海外市場向けの売上高の大幅な伸長を目指す
- ③顧客の期待にワンストップで応え、ソリューションビジネスの拡大を図る
- ④競争力強化と海外市場開拓のための商品開発を推進する
- ⑤顧客が安心して生産活動できる包装システムとサービスの提供で、顧客満足度を得る
- ⑥事業領域拡大のためのM&A・アライアンスを推進する

主な経営施策

販売戦略

- ①グローバル企業及び国内企業海外拠点への企画提案営業の強化
- ②中国・東南アジア市場の販売基盤の確立
- ③次世代包装機販売と顧客関係の深化
- ④問題解決型企业として、顧客の悩み事に素早く対応

開発・技術戦略

- ①次世代包装機及び海外市場向け新機種の開発
- ②メカトロモーション技術の新たな創造
- ③新しいコア技術の追求による差別化の推進
- ④設計の標準化及び構成部品の共通化を推進
- ⑤人材育成による開発力・トータルプラン力の強化

販売戦略

海外事業の強化

- 海外営業部の体制強化
15/7期上期 増員を実施

- 販売基盤の確立

<中国市場>

- ・上海駐在員事務所 開所(2015/1月)
- ・代理店 青島ショールーム 開設(2015/3月)



中国市場の開拓を強化
上海展示会への出展(2015/7月)

<東南アジア市場>

- ・新規販売チャネルの開拓 --- タイ、インドネシア等の現地企業へ提案

- ペットフード用包装機の拡大(主に欧米市場)

- ・大手メーカーグループへの新機種提案 ⇒ 1機種受注

- 新規顧客開拓の受注実績

13/7期	14/7期	15/7期上期
5社	5社	4社
タイ、台湾	タイ、インド、中国	アメリカ、インド、インドネシア、中国



当社上海事務所、代理店

販売戦略

ソリューションビジネスの拡大

- システムソリューション部新設(2014/8月)
「営業サポート課」と「ソリューション課」の2課体制
・顧客への周知活動とソリューション提案

見込み案件数が増加
15/7期下期受注活動を強化

- 高額システム(30百万円以上)の受注実績

	13/7期	14/7期	15/7期上期
受注件数	4件	10件	2件
業種	食品(3件)、ペットフード	食品(8件)、医療、健康食品	食品、医療

内5件は、15/7期売上予定分
上期 2件 検収完了 下期 3件 納入・検収予定

- ロボット応用システムの納入

上記高額システムの一部は、資本業務提携先 ワイ・イー・データのシステムを納入
納入実績(売上期) 13/7期 3件 14/7期 3件 15/7期上期 1件

開発・技術戦略

■ 開発テーマ

第4次中計 シーズン中心の開発を推進

- ①メカトロモーション技術、コア技術の開発
- ②次世代包装機の開発
- ③特定ユーザー・業種のニーズに対応した新機種の開発 等

■ 開発実績・計画

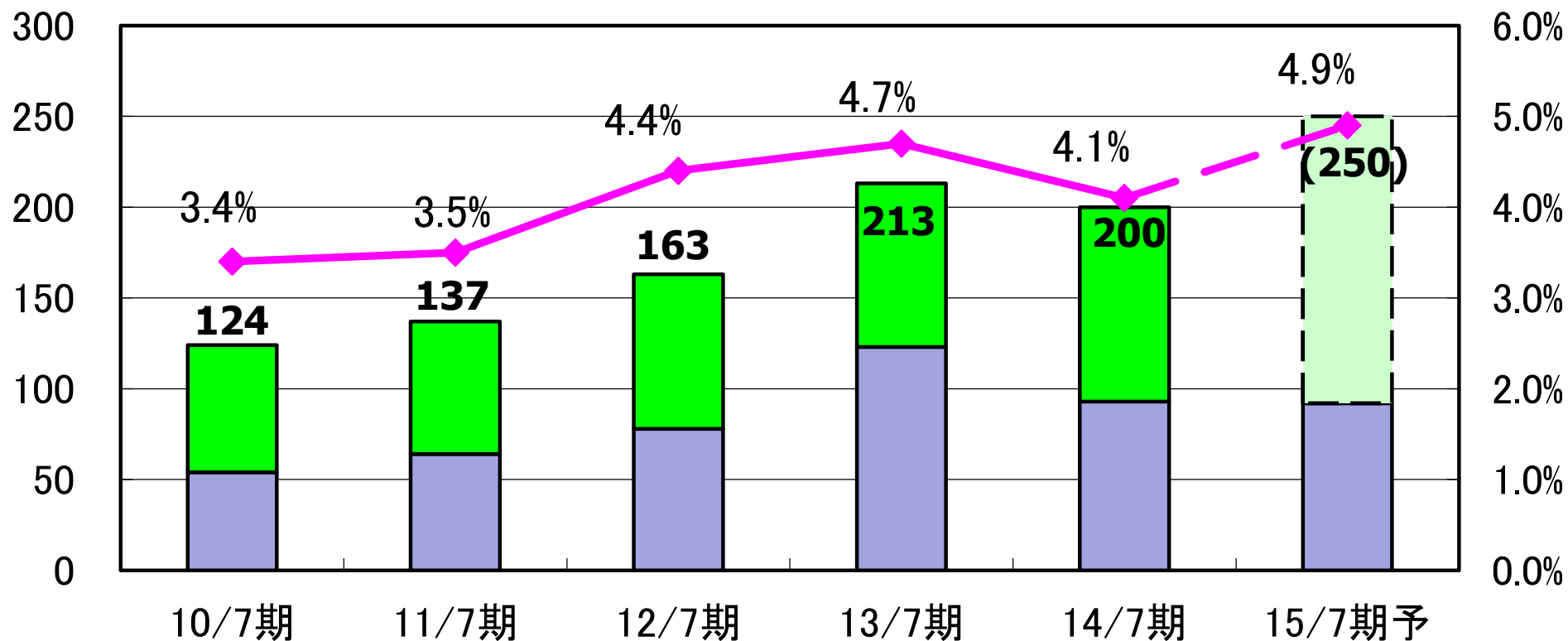
受注残 1台

		販売台数				
時期	機種数	13/7期	14/7期	15/7期上期	対象業種	
13/7期開発機	7	8	5	1	食品	
14/7期開発機	0	—	—	—		
15/7期上期実績	2	—	—	2	食品、酒造	
15/7期下期計画	3~4				コーヒー、ペットフード 等	

研究開発費

開発部人員の強化、技術開発費用の増加等により、
売上高研究開発費比率は、15/7期は4.9%の計画

百万円



■ 研究開発費(上期) ■ 研究開発費(下期) ◆ 売上高研究開発費比率(右軸)

※研究開発費の内訳;約5割が人件費

V. 參考資料

包装機械業界

単位:億円

企業数 約420社(専門メーカー 約240社)

中小企業が約9割

機種別	生産高
個装・内装機械	3,306
包装用計量機	204
充てん機	385
びん詰機械	613
製袋充てん機	613
真空包装機	105
その他	1,385
外装・荷造機械	630
ケース詰機	142
その他	488
合計	3,937

需要先別構成比

- ・食品部門 **51.0%**
- ・化学部門 **18.5%**
- ・その他 **20.1%**
- ・輸出 **10.4%**

主な上場企業

専門メーカー:東京自働機械製作所
兼業メーカー:CKD、渋谷工業 等

袋詰用包装機

当社の主力包装機の区分

当社:包装機械の専門メーカー

■ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の包装機械・システムに特化

- ・高品質・高難易度の包装分野
- ・チャック付袋包装、ガス充填包装等

主な競合先(ロータリー式包装機メーカー)

- ・東洋自動機(非上場):レトルト物の包装が主力
※ナブテスコ連結子会社
- ・古川製作所(非上場):ウェット物・真空の包装が主力

(一社)日本包装機械工業会
「包装機械及び荷造機械生産高統計」
2013年度実績

会社概要(2015年1月31日現在)

■設立 1966年(創業 1961年)

■資本金 251百万円

■発行済株式数 8,994千株

■売買単位 1,000株

■決算期 7月末

証券コード; 6267

東証JASDAQ・名証二部

■事業内容 各種自動包装機の製造・販売

(食品・化学品・健康食品・医療用品等の包装用機械・システム)

■従業員数 126名(その他臨時雇用者17名)

■事業所 本社・工場、東京営業部、上海事務所

■役員 取締役 7名(内 社外1名)

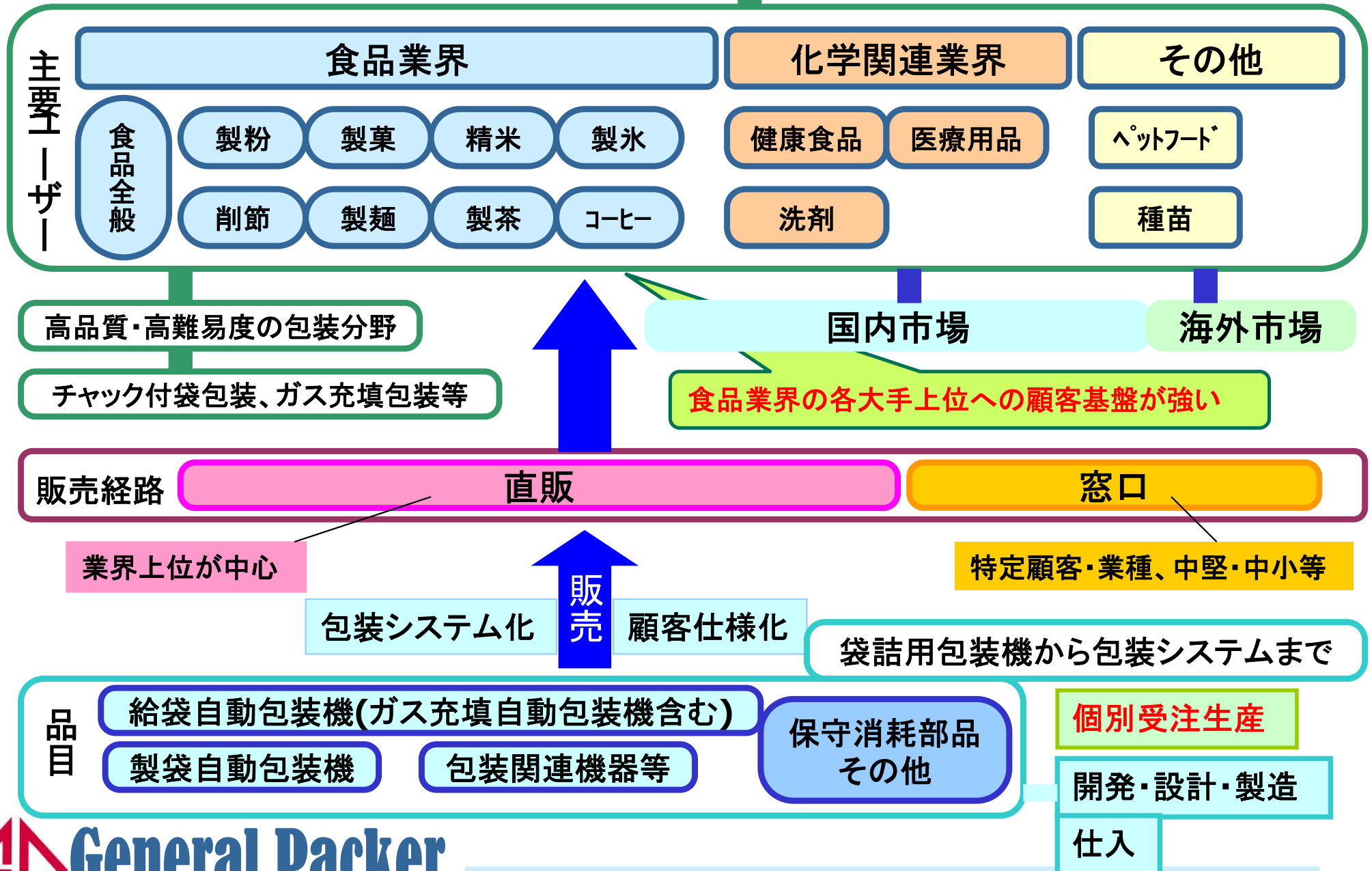
監査役 3名(内 社外3名)

■企業ビジョン

「社会・株主・顧客・取引先・従業員の全てに対し、誠実で透明性の高い経営を実践し、信頼され、支援される企業」の実現

事業内容

主要市場:ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の包装用機械・システム



品目内容

対象物(粉末・顆粒・固形物等)
を袋に充填して包装する機械



袋詰用包装機

給袋自動包装機

袋 → 給袋装置 充填・包装装置

菓子類、小麦粉、食品類、調味料、ペットフード、健康食品、医療用品、肥料、粉末薬品、電子部品等の袋詰用包装機。多品種少量生産向け。

ガス充填自動包装機

袋 → 給袋装置 充填・包装・ガス充填装置

花かつお、ナッツ類等の袋詰用包装機。

製袋自動包装機

フィルム → 製袋装置 充填・包装装置

充填物は給袋自動包装機と同様。小袋の高速包装から大袋包装まで。フィルムから袋を作りながら包装する機械。

包装関連機器等

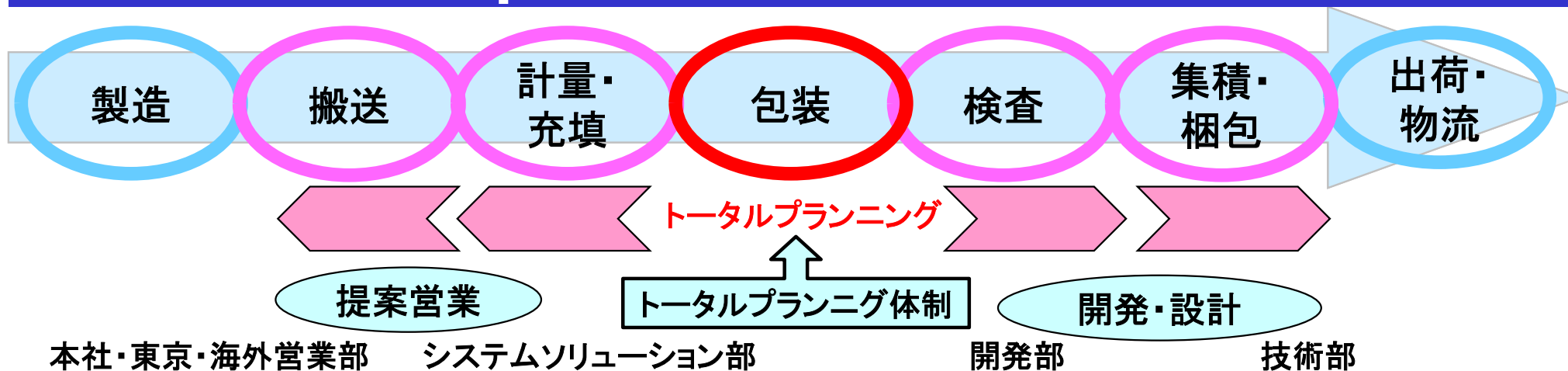
付帯機器(充填機、計量機、計数機、印字機等)、段ボールケーサー、各種包装システム等

保守消耗部品その他

当社販売機械の保守、修理・交換用部品、印字機、検査装置等の取付・改造等

(経営ビジョン)

One stopで応えるソリューションカンパニー



挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

人員推移

	10/7期末	11/7期末	12/7期末	13/7期末	14/7期末	15/1期末
従業員	114	119	123	124	127	126
(内 開発・技術部人員)	(28)	(32)	(34)	(38)	(40)	(39)
臨時雇用者※	24	21	18	19	16	17
合計	138	140	141	143	143	143

※パート、嘱託、派遣

従業員平均年齢	37.0歳	36.9歳
---------	-------	-------

包装システムの市場創造型トータルプランナー ゼネラルパッカー株式会社

当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

【IR窓口】 経営企画室 長谷川
〒481-8601
愛知県北名古屋市宇福寺神明65
電話:0568-23-3111
FAX:0568-22-3222
E-mail:info@general-packer.co.jp

